

## 令和4年度第1回香美市障害者自立支援協議会会議録要旨

- 1 日 時 : 令和4年8月26日(金)10時00分から11時30分まで
- 2 場 所 : 香美市役所5階 委員会室503・Web会議
- 3 出席者 : 秋友会長、弘末副会長  
岡本委員、尾崎委員、濱田委員、西尾委員、藤堂委員、福島委員、  
森委員、高橋委員、中野委員、宗石千佳委員、宗石こずゑ委員  
山中委員、立川委員、住友アドバイザー
- 4 欠席者 : 大谷委員、上島委員、竹崎委員、中山委員

### 5 会議録要旨

#### (1) 令和3年度の実績報告

- ・計画相談の導入率は、実質的に99%、1名がセルフプラン
- ・市内事業所の計画作成率は、障害者が69%、障害児が91%
- ・計画相談事業所数が1減
- ・指定特定相談支援事業所連絡会は、4回実施
- ・障害者、障害児とも相談支援は、件数が増加し新規受入れが厳しい状況
- ・令和2年度から、手話教室は新型コロナウイルス感染症の影響で未実施
- ・障害者虐待等の通告は4件、2件虐待認定
- ・障害者虐待等の通告の障害種別は、身体障害者1名、知的障害者2名、精神障害者1名で、虐待種別は、身体的虐待が1件、心理的虐待が1件、性的虐待が2件
- ・障害者虐待認定は、精神障害者への養護者による性的虐待1件、知的障害者への障害者福祉施設従事者等による身体・性的虐待1件
- ・香美市権利擁護連携協議会を開催し、成年後見制度利用促進のための中核機関設置に向けて検討部会を設置
- ・権利擁護事業支援学習会は新型コロナウイルス感染症の影響で未実施

#### (2) 地域活動支援センター「香美」からの報告と本年度の取組み

##### (ア) 令和3年度 相談支援事業報告

- ・電話での相談が増え、相談者の実人数は増加
- ・支援方法は、電話での対応やZOOMなどを利用した会議の開催、関係機関との連携が増加
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で現在もショートステイは機能していない状況
- ・全体的に精神障害者や発達障害者の方の相談が多くなっている傾向で、生活面や就

- 労面、生活困窮の重積課題で支援が困難なケースが増加
- ・ 障害者通所支援は増加傾向にあり、教育機関や事業所、保護者との情報共有のあり方の検討が必要
  - ・ 県内の民間事業所では受け入れが困難なケースが増えてきており、県内地域資源の拡充と専門性の確保が必要

(イ) 令和3年度 地域活動支援センター事業報告

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に合わせて、閉鎖対応や飲食中止、活動内容を制限
- ・ 一定利用者数が確保できない為、生産活動も拡充できず
- ・ 利用者の生活スタイルや課題に合わせた利用計画書を作成
- ・ 就労に対するモチベーション向上のための生産活動を、地域の企業と連携して実施

県に提言しているショートステイ受入れ指針の具体的内容について質問があり、内容と経過を説明した。

(3) 相談支援部会からの報告と本年度の取組み

- ・ 地域課題を中心に成果を意識した協議を実施
- ・ 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定に係る意見交換
- ・ 子ども支援部会の設置についての意見交換
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応についての情報共有
- ・ 個別ケースの情報共有と経過報告
- ・ 今後の方針として、浮かび上がってきた課題を専門部会の中で検討し、提案された対策の検証や周知実行を軸に活動
- ・ 各機関が検討課題を持ち寄り、情報共有や検証を行い香美市の取組に繋げる

(4) 子ども支援部会からの報告と本年度の取組み

- ・ 令和3年度の活動は、保育所等訪問支援の課題抽出までとなった
- ・ 今年度は、放課後等デイサービス、児童発達支援について同様に課題の抽出を行い、出てきた課題への対策について検討
- ・ 放課後等デイサービスについて、サービス利用児童が地域に移行しやすい環境を設定できるよう、香美市児童クラブと連携する体制を整備

医療的ケア児の人数について質問があり、現在把握している人数と支援調整が必要な児童はいないことを説明した。

(5) 第3次香美市障害者福祉計画の取り組み状況

- ・新規事業の追加はなく、自己評価の結果は昨年度よりやや改善
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、関係機関と連携して取り組む事業の評価が低い傾向が続いている
- ・感染症対策等少しずつ進んでおり、今年度からの実施事業は増える見込み

(6) 第6期香美市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗

- ・福祉施設入所者の地域生活への移行は、地域生活移行者数は目標の1名を達成も、新たに福祉施設に入所した者が4名あり、総数では増加
- ・地域生活への移行を希望される方へは、訪問サービスや通所サービスを活用し可能な限り支援
- ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築は、目標を未達成
- ・地域生活支援拠点等の整備については、目標未達成も、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムと関連も深いことから、併せて協議
- ・成年後見制度の利用促進については、香美市権利擁護連携協議会において協議
- ・福祉施設から一般就労への移行は、目標の2名を達成
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、短期入所はさらに減少
- ・意思疎通支援事業は、前年までの定期利用者が転出し大幅に減少
- ・移動支援事業の利用時間も新型コロナウイルス感染症の影響によりさらに減少
- ・障害児の通所サービスは利用者が増え、年々増加傾向

障害児の利用者が増えている傾向について質問があり、特に放課後等デイサービスは、事業所の定員の関係から受け入れがひっ迫していること、学童への移行が重要となってくるということが説明された。

(7) その他連絡事項等

- ・障害者の雇用について、新型コロナウイルス感染症の影響から支援機関から離れている方が多く、すぐに就労に繋ぐのは難しい状況にある。障害者からの不安の声も多く、再度支援機関等の利用を促していく。また、農福連携を意識し、農業分野への雇用も繋げていく。
- ・就労系事業所パンフレットの利便性を図るため、近隣市町村との合同冊子作成を要望される。